

御嵩町立保育所等の老朽化に伴う施設整備について  
中間報告書

平成27年12月

御嵩町立保育所等老朽化対策検討委員会

はじめに

御嵩町では、公立の上之郷、中、伏見保育園と私立の御嵩保育園と合わせて4つの保育園がある。そのうち中保育園は、建設以来40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる状況にある。

そこで、今年8月に「御嵩町立保育所等老朽化対策検討委員会」を立ち上げ、さまざまな可能性があるなか、保育園の取り巻く現状を分析するとともに、各種アンケート調査、保護者との懇談会を実施し、広く意見を取り入れながら、老朽化した保育園の対策について審議を行ってきた。8月から2回にわたって検討を進めてきた内容について中間報告としてまとめたものである。

## 1 検討経過について

区分	開催日	内容等
第1回	平成27年8月29日	委員長・副委員長の選出について 保育園等の現状報告について 現地視察（中保育園・中児童館） アンケートについて（案）
—	平成27年10月～11月	アンケートの実施 ・在園児（保育園・幼稚園）の保護者 ・未就園児の保護者
—	平成27年11月16日	中保育園保護者との住民懇談会
第2回	平成27年11月27日	第1回検討委員会の振り返り 各種調査結果について アンケート調査・住民懇談会 中間報告（案）について

## 2 保育園の課題や現状について

中保育園の老朽化に対する検討を進めるうえでの、保育を取り巻く現状等について共通認識を図り整理した。

- 公立保育園の施設の老朽化（3園ともに昭和40～50年代に建設）
- 人口減少社会の到来により、30年後には総人口が1千人減少見込み
- 少子化による就学前児童数の減少傾向
- 核家族化や女性の社会進出、雇用・勤務形態等変化に伴う保育ニーズの多様化

低年齢児（未満児）の入所が増加傾向、延長保育への対応

- 保育園の運営費や運営費に占める人件費の負担が大きい
- 公立保育園の施設整備に対する有益な交付金メニューがない
- 平成20年度の御嵩保育園民営化の検証結果によると「一部の課題が残る点があるが、全体的に見えれば、現在の保育内容等については満足できるレベルである」と評価された

### 3 各種調査結果について

---

保育園在園児、幼稚園在園児、未就園児の保護者を対象にしたアンケート調査及び中保育園住民懇談会について、その概要を整理した。

#### (1) アンケート調査の概要

実施期間：平成27年10月～11月

調査対象：保育園（町内4園）・幼稚園に通う園児の保護者

保育園入園説明会に参加した未就園児の保護者

ぽっぽかん、伏見児童館、一時保育（御嵩保育園）を利用した未就園児の保護者

乳幼児学級や保健センターの健診に参加した未就園児の保護者

配布方法：各施設等で配布

回収方法：各施設等で回収

配布数及び回収率・・・表のとおり

施設名	配布数	回収数	回収率
保育園児 (4保育園)	284	187	65.8%
未就園児 (ぽっぽかん等)	101	92	91.1%
幼稚園児 (みたけ幼稚園)	155	120	77.4%
合計	540	399	73.9%

主な調査結果：

■老朽化が進む中保育園をどうしたらよいか

▽保育園児、未就園児、幼稚園児の保護者

方法	保育園児 回答数	未就園児 回答数	幼稚園児 回答数	合計
同じ場所での新築 建替え	61	48	30	139
リフォーム（耐震 補強）	37	17	21	75
新たな場所に移転	20	4	10	34
将来を見据えた園 舎の統廃合	38	6	27	71
わからない	23	15	24	62
その他	0	0	4	4

■中保育園の運営等について、今後どうしたらよいか

▽保育園児、未就園児、幼稚園児の保護者

方法	保育園児 回答数	未就園児 回答数	幼稚園児 回答数	合計
公立の運営	69	39	25	133
民営化して運営	30	8	27	65
どちらでもよい	54	15	37	106
わからない	31	25	31	87
その他	0	0	0	0

(2) 住民懇談会の概要

実施期間：平成27年11月16日（月）

実施場所：中保育園遊戯室

参加者： 保護者15名

主な意見

項目	主な意見
建替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えの前に、耐震補強など今の安全（子どもの安全）を最優先に考えてほしい。</li> <li>・もし建替えるという結論に達するならばできるだけ近くでお願いしたい。また、建替え中に遠くの保育園に行くのは不満である。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えるなら駐車場の検討もしてほしい。前の道路は危ない。</li> <li>・危ないのなら建替えるしか方法はない。</li> </ul>
耐震補強	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強は未実施とあるが調査も行っていないのか。</li> <li>・建物は、移転等を検討する前に補強をしてほしい。</li> </ul>
運営形態（公立・民営化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立の保育士の保育については満足</li> <li>・公立運営というのにメリットを感じて、通っている人も多いと思う。</li> <li>・民営化することに対して保護者にとってのメリットが見えない。町の財政面の話は理解したが、それだけに聞こえる。</li> </ul>
児童の発達支援との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達が不安な子の支援等、民間となった場合に不安がある。</li> </ul>
子どもへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者としては体制を変えられたくない。建替えとなれば園舎が変わるだけで子どもにはストレスになる。先生が変わるというストレスまで負わせたくない。</li> </ul>

#### 4 保育所等の施設整備の調査検討について

中保育園の老朽化に対する調査検討について、以下の項目のとおり整理した。

##### (1) 耐震化工事の早期の実施

- ① いつ起こるか分からない地震災害等に備え、まずは子どもの安全を最優先すべきである。
- ② 今の子どもたちの安全を守るように現在の園舎について、耐震化工事等を早期に実施することを望む。

##### (2) 新園舎の建設

- ① リフォームではなく新しく園舎を建替える。
- ② 公立でも私立でも御嵩町で育っていく場所なので、子どもたちにとって良い施設を建ててあげたい。
- ③ 施設の建設場所における亜炭廃坑対策をきちんと実施する。

##### (3) 運営形態（公立もしくは私立保育園）

- ① 安定的な運営ができる担保がとれるようだったら民営化しても問題はない。
- ② 運営形態としては、民営化するのか、公立運営にするのかは現段階では合意に至らない。
- ③ 公立でも私立でも大差はない。

■公立運営のメリット

- ・ 長期的かつ継続的な保育運営の保証が期待できる。

■私立運営のメリット

- ・ 固定の運営費で経費の節減が期待できる。
- ・ 行政事務のスリム化が図れる。

■私立運営デメリット

- ・ 子どもが少なくなって保育事業から撤退しやすと言われる可能性など、長期的かつ継続的な保育運営の保証がどこまで可能か不安である。ただし、この不安が解消できれば、民営化でも問題がなくなる。
- ・ 未満児（子3名に1名配置）を受け入れることで、お金儲けに走りやすい傾向にある。
- ・ 0歳児の担当は、保育の難しさからベテラン保育士が見守る必要があり、長期的な人材育成という観点からすると民営化は難しい点がある。

(4) 施設の複合化

- ① 老朽化が進んでいる中児童館は危険な状態であるため、保育園との隣接も含め複合施設を検討すべきである。
- ② 幼稚園教諭や保育士の質の高めるための幼児教育センターや発達に関する総合的な支援ができる療育施設など、施設の複合化の可能性を検討すべきである。
- ③ 保育施設であると同時に、緊急時の避難所としての機能もあわせ持つとよい。

(5) その他の主な意見

- ① 近年、御嵩小学校の1学年が100人を割る状況にある。御嵩・中保育園併せて60人、みたけ幼稚園が定員60人である状況を考えると、御嵩・中地区に3園ではなく2園でも良い。
- ② あと10年経過すると今度は伏見保育園の老朽化問題が出てくる。中・伏見保育園の統合を含めながら伏見保育園のことも考えておく必要がある。
- ③ 御嵩町としての人口減少がある中で、保育サービスの充実は定住化とともに第一重要課題に等しい。
- ④ 保育の質は年々落ちている。保育士も楽しく保育ができるような仕組みづくりをしないと、子どもたちが窮屈な思いをする。
- ⑤ 子どもは成長していくため、建替え中の保育をどうするのか考える必要がある。(同場所での建替え、仮園舎とした場合)
- ⑥ 別の土地で駐車スペースが確保できる広い場所に建替えがよい。